

No. 1581

花の万博あと600日

——東京・新宿——

「国際花と緑の博覧会」略して花の万博600日前の8月9日、東京・新宿小田急デパートで残日表示計（カウントダウン）の点灯式が行われました。

点灯式を前にジャズ・コンサート。

花の万博は、昭和65年4月1日から9月30日まで大阪・鶴見緑地で開かれます。

夕闇せまる中、来賓の古賀誠建設政務次官のあいさつや子供達の未来宣言のあとスイッチが押され、華やかに点灯。

これから開催日まで「花の万博」の宣伝に大いに効果を上げそうです。

潜水艦つり船と衝突

——横須賀沖——

7月23日午後3時すぎ横須賀港から3キロ沖合で海上自衛隊の潜水艦「なだしお」と、つり船「第一富士丸」が衝突。

つり船の客ら48人は海に投げ出されたり、船内に閉じこめられたりしました。

すぐに19人は救助されたものの一人が死亡、29人が行方不明の惨事となりました。

土井社会党委員長も海上自衛隊横須賀地方総監部につけ、事情聴取を行いました。

不明者捜索と第一富士丸の船体引き上げ作業を自分の目で確かめたいと、深夜、現場に向かう家族や関係者たち。

7月27日早朝、船内で見つかった遺体が総監部前の岸壁に到着。

雨の中、つぎつぎと、体育館に設けられた安置所に向かいます。

28日国会でも連合審査が開かれ、竹下首相は「原因究明が公平に行われ、結果として各レベルで責任を負うのは当然」

とのべ、瓦防衛庁長官も辞任を保留し「当面、原因究明に取り組む」と決意を表明。

30日東京・北上野の天粕さんの自宅で同僚だった天粕、諸橋両家の合同慰霊祭が行われました。

両家とも父親と息子を失うというショックに焼香の人々も沈痛な面持です。

30名の生命を奪ったこのような事故を二度と起こさないためにも、事故原因の究明とその対策に力を入れて欲しいものです。